

知って 中の仕事

医療機関で患者さんの介助や看護師のサポートをする看護補助者(看護助手)。医療行為には携わりませんが、病院にはなくてはならない存在です。豊岡病院で働く看護補助者、小田垣千秋さんに仕事内容ややりがいなどについて聞きました。



看護補助者

患者さんの介助や看護師をサポート 未経験でも丁寧に指導

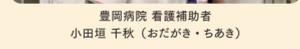
看護補助者の業務は多岐にわたります。一般的に、患者さんの身の回りの世話をし、看護師の業務をサポートする。病室の清掃やシーツ交換など院内の環境整備を行うといった業務が中心ですが、細かい業務は、配属先によって違います。小田垣さんは、2023年5月に豊岡病院に入りましたが、それまで看護補助者の仕事をしたことはありませんでした。たまたま豊岡病院の求人を見かけ、「どういことをするのか」と興味をわき、チャレンジすることにしました。

配属先は外科の病棟。入院患者さんのオリエンテーションや検査の付き添い、食事の配膳といった身の回りの世話のほか、医療器具や物品の在庫の確認・補充、物品の運搬、手術後に患者さんを運ぶベッドの準備などさまざまな業務をこなします。最初は分からないことだらけで不安でしたが、同僚に教えてもらったり、段取りよく進められるようになりました。

患者さんのことを第一に考えつつ、次々と業務をこなしていると、1日が過ぎるのはあっという間です。「ハードな仕事ではありませんが、達成感があります。皆さん笑顔で仕事をこなしていて、職場の雰囲気も良いです」と小田垣さん。「患者さんや看護師さんから『ありがとう』と言われるとうれし

いです。手術後につらそうだった患者さんが日に日に良くなり、笑顔が増えていくのもうれしいですね」小田垣さんは時間を見つけては、散歩や買い物に出たり、売店に付き添ったりと、なるべく患者さんに関わるようにしています。「手術に臨む患者さんや、術後に痛みを抱えている患者さんの不安を、少しでも和らげられればと考えています。患者さんに『あの病棟は良かったわ』と思っていただけるような仕事をしたいです」

豊岡病院では看護補助者のほか、看護補助者と連携して患者さんの介助などを行う介護員も募集しています。両職種とも資格や経験は問いません。未経験でも、周りのスタッフがサポートします。興味がある方はぜひお問い合わせください。



豊岡病院 看護補助者
小田垣 千秋 (おだかき・ちあき)



皆さんの「推し活」は何ですか？

「人生が180度変わった」 家族や友人とバイクライフを満喫

豊岡病院看護部主任、水田智美さんの「推し活」はバイク。バイクに乗り始めて「人生が180度変わった」という水田さんに、その魅力や仕事に与える影響などを聞きました。

豊岡病院
看護部主任
水田 智美
みずた・ともみ

「どのような「推し活」をしていますか。休みの日に、天気が良ければバイクで出かけます。夫と休みが合えば2人でツーリングしますが、子どもや友人とも行きます。1人で出かけるのも好きですね。——愛車は何ですか。」

カワサキの「Z250」(250cc)と、昨年購入した「Ninja(ニンジャ)400」(400cc)です。これからはずっと乗りたかった400ccと、いろいろな所に行きたいですね。——バイクでどのような所に行きますか。」

景色がきれいな所ですね。日帰りで大山(鳥取)や蒜山(岡山)、福井あたりまで行きます。年に1、2回は、車に夫と私のバイクを積んで、九州や関東まで持って行って乗ります。御朱印帳を持って、お寺や神社を巡ることもありますね。——バイクに乗り始めたきっかけは。」

子育てが一段落した5年ほど前に、バイクが趣味の夫から勧められました。ずっと乗ってみたいかったんですが、背が低くて勇気が出なかったんです。思い切って教習所に飛び込み、免許を取得しました。——どのような魅力がありますか。」

好きな音楽を聴いて、風を感じながら走るのが気持ちいいですね。車体がコンパクト

なので、「あの景色いいな」と思ったらすぐに止まれます。地図を見ながら、ツーリングの計画を立てるのも楽しいです。——推し活が仕事に与える影響は？」

仕事で落ち込んだ時も、バイクに乗るとリフレッシュできます。「また明日から頑張ろう」と切り替えられますね。——バイクを始めて良かったことは。」

人生が180度変わりましたね。行動範囲が広がり、SNSを通じて人間関係も広がりました。いろいろな情報や価値観を知ることができてすごく楽しいです。



夫婦でツーリング。角島大橋(山口県)にて



より身近で安心できる「日高クリニック」になりました

外来機能に大きな変更はなし 内科、整形外科で午後診療を提供

日高医療センターは2024年4月から、「公立豊岡病院組合立豊岡病院日高クリニック」に名称を変更し、新たなスタートを切りました。外来はこれまで通り内科・外科・整形外科・皮膚科・産婦人科で運営し、但馬地域最大規模の透析センターや健診センター、訪問看護ステーションも続けます。内科と整形外科の午後診療や訪問診療など、より地域の皆さまの生活に密着した医療を提供していきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



内科、整形外科で午後2時半まで受付
(整形外科は、金曜午後2時まで)

非耐震の建物を解体、新本館を整備へ

今後は、2023年度に修正した「日高医療センター整備基本計画」をもとに、診療を継続しながら整備を進めていきます。非耐震の本館を解体し、新たに建設した新本館に人工透析機能と放射線科、外来の内科を集約。同じく非耐震の新館は、新本館整備後に解体・撤去します。耐震の外来診療棟、療養棟、健診センター棟は一部機能を移転しながら運用していく予定です。病床については検討中。新本館は、2026年度以降の稼働を目指しています。

地域の方々に、気軽に来ていただけるクリニックに

日高医療センターから「日高クリニック」に名称を変更した2024年4月に、院長に就任しました。入院診療は2023年4月から一時休止していますが、外来診療については、これまで通りの運営を続けていきます。地域の皆さま方に、気軽に来ていただけるクリニックを目指していきたいです。

病床機能が休止している中、少しでも地域の方々に還元ができないかと、外来診療を強化しています。その取り組みの一つが午後診療です。地域でシームレスな診療体制を作ろうと、内科と整形外科で月曜から金曜まで対応しています。午後2時半まで受け付けているので(整形外科は、金曜は午後2時まで)、気になることがあればお越しください。

2023年夏からは訪問診療を始めました。以前から当院に通院していた方などを対象に、週1回行っています。クリニックでの診察とはまた違った雰囲気があり、患者さんのご自宅での過ごし方などが分かりますし、リラックスされた状態で話ができるのが良いですね。今後も需要が高まると予想されていますので力を入れていきたいです。将来的にはオンライン診療の導入も考えています。

生活習慣病の予防・改善や人工透析治療についても引き続き取り組んでいきます。高血圧や糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病の患者さんには、外来の待ち時間に管理栄養士による栄養指導を受けていただいたり、院内の多職種で作成したスライドを見ていただいたりしています。また、より患者さんに優しい透析治療を行うため、今後整備する新本館への透析センター移転に合わせて機器を更新することなども検討しています。

私は約20年、但馬地域で医師を続けてきました。城崎温泉が好きでよく行きますが、日高地区でもお気



日高クリニック
院長
小松 素明 こまつ・もとあき

令和6年度採用試験のお知らせ

募集職種	募集人数	募集受付	試験日
看護師	60名	⑤ ~ 8月17日(金)	⑤ 9月7日(土)
		⑥ ~ 9月21日(金)	⑥ 10月5日(土)
		⑦ ~ 10月19日(金)	⑦ 11月2日(土)
		※消印有効	以降も毎月第一土曜実施
募集職種	募集人数	募集受付	試験日
病院マネジメント職員	若干名	~8月23日(金)	一次試験：9月7日(土) 二次試験：9月28日(土)

詳しくは、ホームページをご確認ください



採用試験ホームページ

医師異動のお知らせ

氏名	診療科	日付
松田 明宏 まつたあきひろ	脳神経内科 医員	令和6年5月1日着任
森脇 彩賀 もりわきあやか	小児科 医員	令和6年7月1日着任
矢野 愛華 やのあいか	救急集中治療科 医員	令和6年7月1日着任
池田 修斗 いけだしゅうと	救急集中治療科 医員	令和6年7月1日着任
氏名	診療科	日付
伊藤 大樹 いとうひろき	脳神経内科 医員	令和6年4月30日退職
上田 雅章 うえだまさあき	新生児科 センター長	令和6年6月30日退職
浅田 充夫 あさだみつお	救急集中治療科 医員	令和6年6月30日退職

フォロー
お願いします!

組合公式
Instagram



医師修学資金制度のお知らせ

医師を目指す学生さんを応援します!!

医師修学資金	医師修学一時資金
貸与金額●1~4年生/年間 150万円 ●5~6年生/年間 210万円	貸付金額●上限額 2,000万円
■応募資格/ ①但馬又は丹後地域において就学歴又は在任歴を有する者 ②令和7年度医学部進学(受験予定者)および在学者	■入学金、授業料、施設整備費等、正規の修学年限内に本人が支払うべき学費の範囲内 ※基本的に、初期研修開始後10年以内に、月額若しくは半年額の方法で返還(返還免除なし)
■募集人数/3名程度 ■試験日/令和6年12月16日(月)午後1時30分 ■受付期間/令和6年11月1日(金)~11月29日(金)必着 ※免許取得後、医師として公立豊岡病院組合立病院で一定期間を勤務した後、返還を免除	【問合せ】 人材育成・研修支援センター ※募集要項は右のQRコードからダウンロードできます。

決算状況の公表

令和5年度の決算状況を作成しました。内容はホームページからご確認ください。



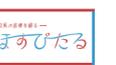
トライやる・ウィークで中学生を受け入れました

6月3日~6月7日、各病院・クリニックでそれぞれ地域の中学生を受け入れました。期間中、病棟や外来、薬剤部、リハビリテーション技術科、放射線技術科、検査技術科、臨床工学技術科、栄養技術科、事務部門など様々な部署で活動しました。今回の経験が医療従事者を目指すきっかけとなり、将来豊岡病院組合と一緒に働いてくれることを願っています!

公式ホームページから「ほすびたる」をご覧ください

「豊岡病院組合」をWeb検索

公式ホームページにアクセス



このバナーをクリックすると「ほすびたる」掲載記事が閲覧できます。

地域とつながり、 支え合うために

日高クリニックは、1947年に公立豊岡病院日高分院として開院して以来、生活習慣病の予防や透析治療などを中心に、地域の皆さまの暮らしと健康を守る取り組みを続けています。当院で働くスタッフらに、自身が担当している仕事や日々の心がけ、利用者様に伝えたいこと、但馬地域の「マイプレイス」について聞きました。

- ① 担当する仕事内容や心がけていること
- ② 利用者様へのメッセージ
- ③ 但馬の「マイプレイス」(お気に入りの場所)



産婦人科
医師
福永 次雄
ふくなが つくお

① 外来で婦人科健診の診療や妊婦健診(妊娠30週ぐらいまで)、不妊治療(タイミング療法・人工授精)、検査(子宮卵管造影・精液検査)などを行っています。心がけていることは、患者さんとのコミュニケーションを大切に、安心感を提供することです。② 皆さまに安心してご来院いただきました。患者さん一人ひとりに寄り添った、丁寧な診療を説明に努めています。③ 月に1、2回、「小金家」での飲食、スナックでのカラオケを楽しんでいます。



産婦人科
助産師
小田垣 佐恵美
おたかき さえみ

① 外来業務、妊婦健診、母親学級を担当しています。患者さんの話に耳を傾け、丁寧な説明を心がけています。② 当院では妊娠30週ぐらいまでの妊婦健診を行っていますが、今年度より個別で両親学級を開催することとなりました。妊娠中の過ごし方やプレパラの妊婦体験、赤ちゃん人形を使ったレッスンなど、赤ちゃんを迎えるための準備をサポートします。③ クリニック近くの「まめcafé」、豆乳にはまり、おいしくイソフラボンを摂取しています。



臨床工学技術科係長
臨床工学士
竹馬 昌史
たけば まさし

① 透析センターで血液から不要なものを取り除く血液浄化療法を担当しています。穿刺(せんし)を含めた開始操作から終了時の返血操作までに加え、透析液作成装置や透析装置などの維持管理も行っています。心がけているのは、安心、安全な透析医療の提供です。② 透析治療の基本を踏まえた上で、可能な限り体に負担をかけないよう、一人ひとりの状態に応じた治療を心がけています。③ 豊岡市中郷地区中筋から見た冬の神鍋高原です。少し北アルプスのようにも見えます。



透析看護
認定看護師
田中 美奈子
たなか みなこ

① 透析センターで、主に血液透析中の管理や在宅生活支援、スタッフ育成などを担当。明るく温かい雰囲気、安全に、安心して透析を受けていただけるよう心がけています。② 初めて血液透析を受けられる場合は、治療や今後の生活について不安に思われる方も多いため、まずはお話を聴かせていただき、食事や体重、シャント管理、フットケアなどをサポートします。③ JJA(たじまのファーマーズマーケット「たじまんま」(豊岡市))。但馬がぎゅっと詰まった品ぞろえで幸せな気分になります。

● 健診センター

豊岡病院組合の4病院の中で唯一独立した健診センターです。病気を予防し、健康に暮らすためには継続した健康チェックと生活習慣の改善が大切です。センターでは、人間ドック(日帰り)や特定健康診査、女性がん検診(乳がん、子宮がん)を行っています。



● 透析センター

但馬地域最大の透析センターで64床(うち個室1床)のベッドを備備し、月曜日から土曜日まで運営しています。透析を受けながら安心して生活を送っていただけるよう、治療や検査のほか、食事や水分、シャント管理などさまざまな指導も行っています。



● 訪問看護ステーションひだか

2022年に訪問看護ステーションひだかと豊岡病院訪問看護室が統合。豊岡市全域を中心に24時間・365日体制の訪問看護を実施しています。住み慣れた地域やご自宅で満足して過ごせるよう、地域の医療機関と連携しながらサービスを提供しています。



TOPICS

各病院のお知らせ情報

豊岡病院



病院機能評価機構の認定を受けました

当院は、第三者評価として公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG:Ver.3.0の更新審査を受け、2024年6月7日付けで更新されました。この病院機能評価は、病院組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的な立場で評価を行う第三者機関として設立された機構が審査を行うもので、6回目の認定となっております。今後も但馬地域の医療を守り続けるために、職員一同更なる医療の質向上に取り組んでまいります。

出石医療センター



医療社会事業士
金子 聡美
かねこ ともみ

一緒に自宅復帰を目指しましょう

当院では「地域包括ケア病床」を22床設けています。この病床では、住み慣れた自宅や施設に復帰できるよう、医師、看護師、リハビリスタッフ等が協力して支援を行います。手術は終わったけどもう少し経過観察が必要な方、リハビリが必要な方、自宅退院に向けた準備が必要な方にご利用頂いています。入院期間は平均30日です。自宅復帰までの手続き等は、当院医療社会事業士がご提案します。当病床への入院は、現在入院されている病院の担当者にご相談ください。

生活習慣病を 予防しましょう

生活習慣病とは、不摂生な生活習慣(過食や偏食、運動不足、喫煙や飲酒等)などが原因で起きる病気の総称です。代表的な疾患には、心疾患・脳卒中をはじめ、糖尿病・高血圧・脂質異常症など動脈硬化を促進させる病気も含まれます。生活習慣病は、長い時間をかけて少しずつ進行するので、定期的に健康診断を受けることで、病気の早期発見・治療ができます。また、日々の生活のなかで、食生活・適度な運動・禁煙など生活習慣を改善し、生活習慣病の発症・重症化の予防を心がけましょう。



日高クリニックの取り組み

人間ドック
人間ドックは、生活習慣病をはじめとする体の異常を早期発見するのに大きな威力を発揮します。毎週火曜日から金曜日に実施しており、予約制です。

栄養指導
管理栄養士が食生活に不安のある人や病気によって食事制限のある患者さんを対象にヒアリングを行い、一人ひとりに応じた食生活の改善点を指導します。

お問い合わせは、日高クリニック・・・TEL 0796-42-1611 まで

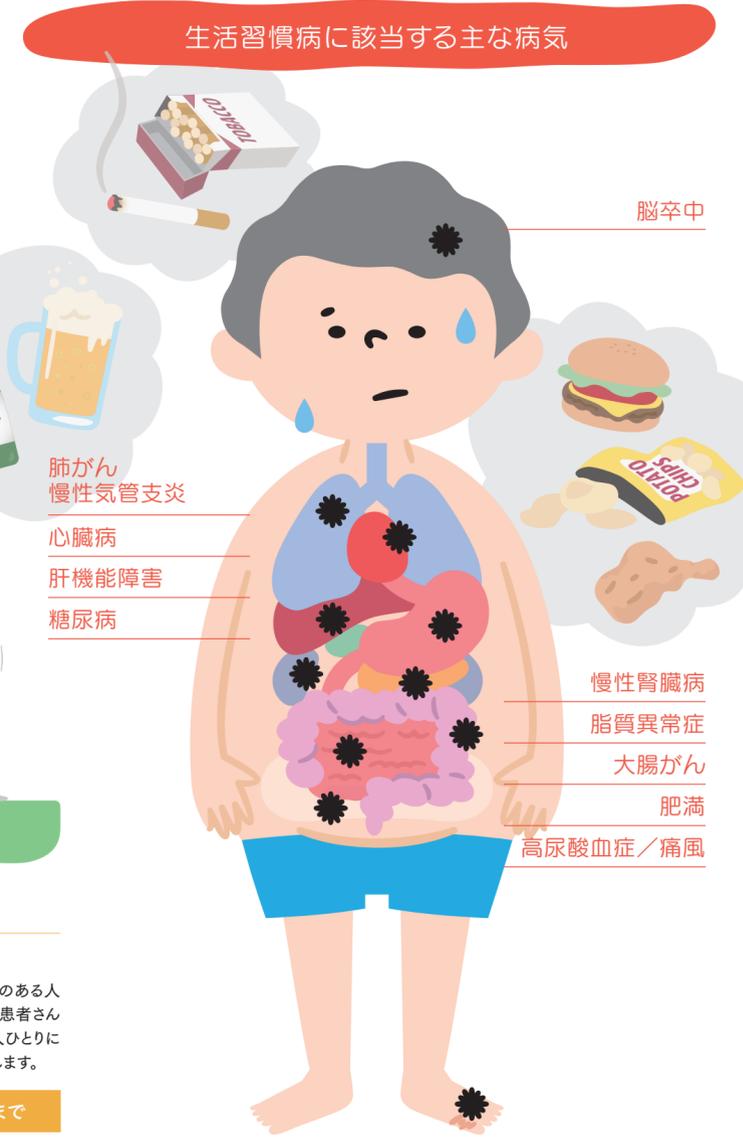
Interview

一人ひとりに合わせて栄養指導 日々のセルフチェックも大切



管理栄養士
谷脇 悠里江
たにわき ゆりえ

管理栄養士・主任
中島 里奈
なかしま りな



日高クリニックで、栄養指導を担当するのは管理栄養士の管理栄養士、中島里奈さんと谷脇悠里江さん。医師の指示に基づいてカウンセリングを行い、食生活の改善点を探ります。1か月に約200人が利用しています。食生活の基本は「1日3食を規則正しく食べる」「なるべくいろいろなものを食べること」。「薬との飲み合わせで禁止されているもの以外で絶対食べてはいけないという食材はありません。逆に、これを食べれば病気が治りますという食材もありません」と中島さん。患者さん一人ひとりの症状や生活状況に合わせて、できることから取り組みます。調理方法のアドバイスや買い物に行けない、食事を作れない患者さんには、宅配食や保存

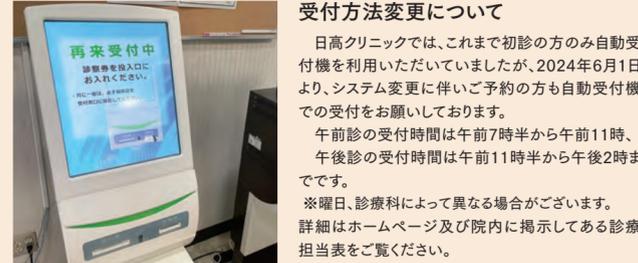
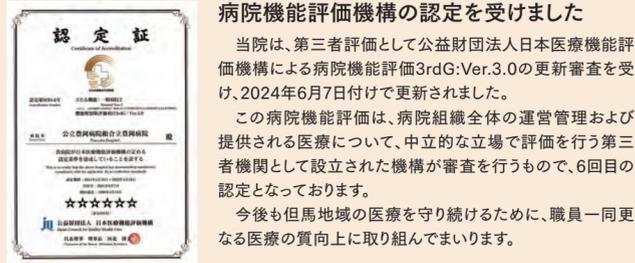
がきレトルトの食材を勧めることもあります。指導の際は、患者さんの話をじっくりと聞き、考えを受け止め、前向きに取り組んだことはきちんと評価するよう心がけています。指導を始めた時は朝食を食べず、昼食はおにぎり1個程度、夕食でほぼ1日分の栄養を取っていた糖尿病患者が、朝食に乳製品を取る、昼食のおにぎりを具入りにするといったことから取り組んだ結果、夕食の量が少しずつ減り、体重も減少したというケースもありました。中島さんは「現在特に症状のない方でも、立ち止まって、自分の生活習慣や食事について考えていただけたらと病気の予防につながります」と話します。まずは、体重測定など日々のセルフチェックから始めてみてはいかがでしょうか。

豊岡病院

出石医療センター

朝来医療センター

日高クリニック



受付方法変更について

日高クリニックでは、これまで初診の方のみ自動受付機を利用いただいていたましたが、2024年6月1日より、システム変更に伴いご予約の方も自動受付機での受付をお願いしております。午前診の受付時間は午前7時半から午前11時、午後診の受付時間は午前11時半から午後2時までです。※曜日、診療科によって異なる場合がございます。詳細はホームページ及び院内に掲示してある診療担当表をご覧ください。